

消化性潰瘍のピロリ除菌の時期

スウェーデンの Emma Sverdén 氏らは、消化性潰瘍の診断後 7 日以内に *H. pylori* 除菌治療を行った人に比べ、それ以降に行った人では再発や胃がんのリスクが高まると *Gastrointest Endosc* 誌に発表しました。



消化性潰瘍の再発は、7日以内の除菌治療と比べて、8~30日で1.17倍、31~60日で2.37倍、61~365日で2.96倍、1年以上で3.55倍でありました。

